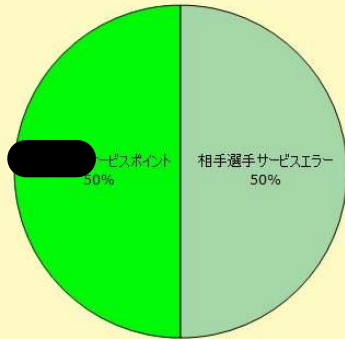


2023.11.4

相手選手取得ポイント割合

総ポイント数 45



高木選手サービスG取得ポイント 15

ミスGエラーポイント 15

サービスエース 0

ダブルフォルト 0

ファーストサーブ 17

セカンドサーブ 3

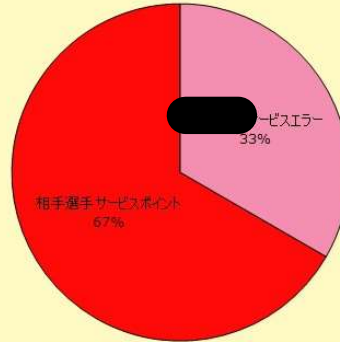
フォアハンドウィナー 7

バックハンドウィナー 2

フォアハンドエラー 5

バックハンドエラー 5

ファーストサーブ確率 85.0%



相手選手サービスG取得ポイント 10

サービスGエラーポイント 5

サービスエース 0

ダブルフォルト 0

ファーストサーブ 13

セカンドサーブ 12

フォアハンドウィナー 3

バックハンドウィナー 2

フォアハンドエラー 16

バックハンドエラー 5

ファーストサーブ確率 52.0%



ポイント 30

相手選手取得ポイント 15

この試合の傾向

○ウィナーの多くがボレーでのポイントであり、ネットプレーでの精度を上げるとよい。そのためにはボレーをオープンコート・相手を動かすところに打つことが重要。

○サービスはスライスサーブなのでジュースサイドではワイド、アドサイドではセンターへの配球が有効。ファーストサーブの確率○(85.0%)

○ベースラインのラリーはフットワークが大事で打ち終わった後の戻りの動作をしっかり行う。また、ラリー中はアプローチへの移行を考えプレーする。

川橋プロコメント

- ・ネットプレーに行く展開を作れるのは強み。 ・ネットプレー、レシーブが上手い。
- ・サーブでのフリーポイントもあるので、更に強化していくと良いと思います。
- ・山なりボールを相手のバックサイドに集めている時は、対戦相手がやりづらそう。
- ・山なりボールを打った次に低いボールを使用した時のポイント取得が多い。
- ・レシーブ時のスライスチップアンドチャージがプロ選手みたいです。

【参考にしてほしいこと】

- ・アプローチを打ち、ボレーに行く際に、ボールを打ったサイドに、自らがポジションを置くことで、パスが抜かれにくくなる。
- ・サーブのポジションが毎回同じなので、特にデュースサイドのワイドを打つ時は少し右に寄ると角度が付きやすくなる。
- ・山なりボールは相手のバックサイド以外で使わなくていいように感じる。理由としては、バックハンドが、両手や片手スライスが多いので、浅くなりやすいから。フォア側に山なりを打つと深く返球されて、得意のボレーの展開に行きづらく、ミス待ちになると思う。
- ・アプローチのショット内容が強気ではない時にポイントを取られているので、もっと低く滑るボールも使用しても良いと思う。
- ・自らがネットプレーに行きやすい展開があると思うので、その展開を練習の中で見つけたら試合がもっと楽になる。



デニス穴エライザー

川橋 勇太プロ

次回から表示しない

注意:
ALTキー:オブジェクトの大きさを変える
CTRLキー:オブジェクトを動かす